

学術年会開催にあたって

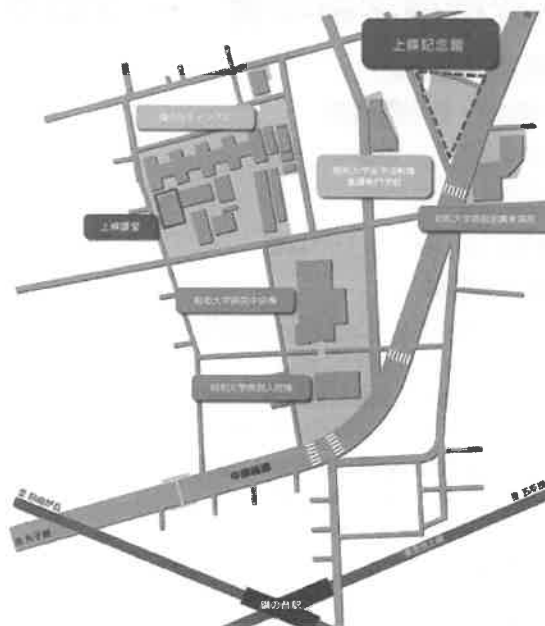
中島 美紀 (学術年会長)

HAB 研究機構学術年会は記念すべき第 30 回目を迎えました。HAB 研究機構は、医薬品開発で問題となる実験動物とヒトとの種差を克服する (Human & Animal Bridging) ため、ヒト組織の有用性を実証するため、ヒト組織を有効に活用するため、のプラットフォームを整備し、創薬・医学・薬学研究に大きく貢献してきました。さまざまなヒト組織が研究に利用できるようになりましたが、ヒト組織の研究活用の拡大と相まって、ここ 30 年における薬物動態学・医薬品安全性学領域における基礎研究も進展し、創薬に貢献しています。近年、創薬モダリティは多様化し、創薬トレンドも変化しつつあるように、基礎研究もまた、さらなる創薬・医療への貢献をめざし未踏領域の課題を解明すべく日進月歩で発展しています。

本学術年会では、「創薬を加速する ADMET 研究最前線：基礎から創薬へ」と題し、薬物動態、医薬品毒性、ニューモダリティと、多方面から最先端の基礎研究・創薬研究をご紹介いただき、今後の展望を議論したいと思います。トランスポーター研究、薬物代謝研究、特異体質毒性研究のそれぞれについて、(30 年の) 進歩と今後の展望について、3 人の先生より特別講演をいただくことになっており、大変楽しみにしております。また、一般演題 (ポスター発表) も受付け、じっくりディスカッションする時間も設けます。若手研究者・学生を対象に、優秀発表賞を選出・授与しますので、奮ってご参加ください。

2019 年末に発生した新型コロナウイルス感染症まん延の影響を受け、第 27 回 (2020 年)、第 28 回 (2021 年) の学術年会はオンライン形式、第 29 回 (2022 年) の学術年会はハイブリッド形式での開催となりました。本年の学術年会は、昭和大学上條記念館にて 4 年ぶりに完全オンサイトで開催いたします。是非、この記念すべき第 30 回目の学術年会にて、face-to-face で議論を交わし、実りある情報交換の場にしていただければと願っています。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。



昭和大学 上條記念館

(東京都品川区旗の台 1-1-20)

東急池上線・大井町線 旗の台駅東口下車 徒歩 7 分

都心からお越しの場合は

JR 五反田駅より東急池上線 乗換 または
JR 大井町駅より東急大井町線 乗換

<参加登録費>

(要旨集を含む)

HAB 研究機構正会員： 8,000 円 非会員：13,000 円

賛助会員： 8,000 円 学 生： 6,000 円

※関連学会会員： 10,000 円

※協賛・後援団体の所属員を予定しております

事前参加申込期限：2023 年 4 月 27 日

<お問い合わせ・お申込み先>

特定非営利活動法人 H A B 研究機構

〒272-8513

千葉県市川市菅野 5-11-13 市川総合病院角膜センター内

TEL 047-329-3563 FAX 047-329-3565

E-mail secretariat@hab.or.jp URL <http://www.hab.or.jp>

Non Profit Organization
Human & Animal Bridging Research Organization

第 30 回 H A B 研究機構学術年会

創薬を加速する ADMET 研究最前線： 基礎から創薬へ

First Circular



学術年会長：中島 美紀

(金沢大学)

学術年会特別委員長：木内 祐二 (昭和大学)

日時：2023 年 5 月 25, 26 日 (木, 金)

会場：昭和大学 上條記念館

協賛： 日本薬物動態学会 日本薬理学会
日本臓器保存生物医学学会 日本再生医療学会
化学工学会バイオ部会 日本動物実験代替法学会

後援： 日本毒性学会 日本臨床薬理学会

(順不同・予定を含む)

最新情報は特設サイトで公開予定です。

ホームページからのリンクを是非ご活用下さい。

2022 年 12 月印刷

第 30 回 HAB 研究機構学術年会 – プログラム概要 –

5月25日(木)

9:10-10:10 特別講演 I

トランスポーター研究の進歩と展望
玉井 郁巳 (金沢大学)

10:20-12:20 シンポジウム I

吸収・分布・排泄研究最前線

経口吸収改善を目的としたプロドラッグ化へのアプローチ
清水 麻衣 (日本たばこ産業株式会社)
胆汁回収が可能なヒト肝細胞培養手法の構築と薬物胆汁中
排泄予測への応用
荒川 大 (金沢大学)

The use of human-derived intestinal samples to understand
the intestinal absorption of drugs
Veronika Rozehnal (Daiichi Sankyo Tissue and Cell Research
Center Munich)

ヒト iPS 細胞を用いた BBB モデルの構築と輸送解析への応用
黒澤 俊樹 (帝京大学)

14:00-15:00 特別講演 II

薬物代謝研究の進歩と展望

山崎 浩史 (昭和薬科大学)

15:10-17:30 シンポジウム II

代謝研究最前線

機能解析から紐解かれた non-P450 酸化・還元酵素の新たな特徴
深見 達基 (金沢大学)

医薬品研究開発における Non-CYP 代謝研究～還元および
加水分解を含むマルチ代謝経路およびその種差の解明～
牧野 智恵 (第一三共株式会社)

エステル型プロドラッグの加水分解における α 1- 酸性糖タ
ンパク質の関与と種差に関する研究
河野 健太 (小野薬品工業株式会社)

核酸医薬品の CYP 阻害評価
池田 和美 (田辺三菱製薬株式会社)

薬剤性肝障害評価におけるシトクロム P450 阻害試験の有
用性
吉成 浩一 (静岡県立大学)

5月26日(金)

9:00-10:00 特別講演 III

特異体質毒性研究の進歩と展望
伊藤 晃成 (千葉大学)

10:10-12:10 シンポジウム III

毒性研究最前線

毒性研究におけるヒト iPS 細胞の応用
清川 順平 (中外製薬株式会社)
安全性評価における MPS の現状と期待
奈良岡 準 (アステラス製薬株式会社)
生体模倣ヒト血液脳関門モデルの開発とその薬物動態・安
全性・病態研究への応用可能性
降幡 知己 (東京薬科大学)
臓器特異的血管によるオルガノイドプラットフォーム技術
の発展と応用
佐伯 憲和 (東京医科歯科大学)

14:00-16:20 シンポジウム IV

ニューモダリティ ADMET 最前線

中分子・ペプチド創薬における産官学連携のエコシステム
活用
演者交渉中
核酸医薬の非臨床安全性評価
平林 容子 (国立医薬品食品衛生研究所)
核酸医薬品の体内動態評価における課題と展望～真の PK/
PD に迫るための ADME 評価法～
岩崎 慎治 (武田薬品工業株式会社)
AAV の薬物動態評価
松本 明宏 (アステラス製薬株式会社)
ニューモダリティの免疫毒性評価の現状と課題
松村 匠悟 (アステラス製薬株式会社)

※敬称略

※演者、演題ならびに講演順は変更になる場合がございます

ご案内

懇親会

5月25日(木) 講演終了後 17:45 -

会場：上條記念館 地下1階 富士桜

年会1日目講演終了後に懇親会を開催いたします。
是非皆様ご参加ください。 参加費：5,000円

ランチョンセミナー

5月25日(木) 昼休憩時 12:30 - 13:15

年会1日目の昼食時に、ランチョンセミナーを開催いたし
ます。是非皆様ご参加ください。

一般講演(ポスター)

5月26日(金) 昼休憩時 12:20 - 13:50

年会2日目の昼食時に、一般講演(ポスター発表)を開催
いたします。若手研究者・学生を対象に、優秀発表賞を選出・
授与します。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。
軽食をご用意いたします。

第 30 回 HAB 研究機構学術年会

組織委員

中島 美紀	(金沢大学)
伊藤 晃成	(千葉大学)
梅原 建	(大塚製薬株式会社)
木内 祐二	(昭和大学)
楠原 洋之	(東京大学)
小林 カオル	(明治薬科大学)
玉井 郁巳	(金沢大学)
月見 泰博	(あすか製薬株式会社)
長坂 泰久	(アステラス製薬株式会社)
平林 英樹	(武田薬品工業株式会社)
前田 和哉	(北里大学)
水内 博	(田辺三菱製薬株式会社)
吉成 浩一	(静岡県立大学)
渡邊 伸明	(第一三共株式会社)

敬称略・五十音順